

疾患名

尿路上皮癌

No.140

H27.12.07(に1)を更新

プロトコール名 ゲムシタビン／パクリタキセル併用療法¹⁾ 進行・再発癌 術後補助化学療法 術前補助化学療法 大量化学療法 局所療法 その他()

投与順	抗癌剤名(商品名・略号)	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日(d1, d8等)
1	ゲムシタビン(ジェムザール・GEM)	1000mg/m ²	div	30分	d1、d8、d15
2	パクリタキセル(パクリタキセル・PAC)	80mg/m ²	div	60分	d1、d8、d15
3					

1コース期間(次コースまでの標準期間)	4週間(3投1休)
総コース数	
コース間での休薬の規定	

減量規定・中止基準	※Grade3以上の発熱性好中球減少、Grade4の血小板減少 Grade3以上の非血液性毒性
投与量の増量規定	なし
投与期間の短縮規定	なし
コースによる変化	なし
1日の中での抗癌剤投与順	パクリタキセル→ゲムシタビン
プレ Medikation・ポスト Medikation	パクリタキセル投与30分前に、 デキサメタゾン6.6mg、ファモチジン20mg、 ジフェンヒドラミン50mg内服

患者条件(初回条件)

・PS0~2

※CTCAE v3.0

除外規定

- ・PS 3以上
- ・重篤な骨髄抑制のある患者
- ・感染症を合併している患者
- ・本剤又はポリオキシエチレンヒマシ油含有製剤に対し過敏症の既往歴のある患者
- ・妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

その他(特記事項)

* パクリタキセル

・本剤投与時には、0.22ミクロン以下のメンブランフィルターを用いたインラインフィルターを通して投与すること。また、点滴用セット等で本剤の溶解液が接触する部分に、可塑剤としてDEHPを含有しているものの使用を避けること。

・本剤投与による重篤な過敏症状の発現を防止するため、本剤投与前に必ず前投薬を行うこと。前投薬としては本剤投与約12~14時間前及び約6~7時間前の2回、もしくは本剤投与約30分前の1回デキサメタゾンとして20mgを静脈内投与、本剤投与約30分前に塩酸ジフェンヒドラミンとして50mgを経口投与、本剤投与約30分前にファモチジンとして20mgを静脈内投与すること。

* ゲムシタビン

・30分間で点滴静脈内投与すること。

1) H26.2.24の審査情報提供検討委員会で適応外使用が認められているため、【倫】を外した